

2-2 表の装飾【セルの書式設定】

- ① 罫線を引く
- ② 列幅を調整する
- ③ 数値を3桁で区切る
- ④ 項目欄を中央揃えにする
- ⑤ セルに色をつける
- ⑥ 表題のフォントサイズを“16”にする
- ⑦ A2セルを太字にする

【現金出納帳】									
2014年10月								科目	小計
日付	科目	摘要	収入	支出	残高	収入			
10月1日		繰り越し			5,600	食費			
10月1日		小遣い	40,000			教習料			
10月1日		昼食代		600		交通費			
10月1日		本		1,500		被服費			
10月2日		バス代		400		交際費			
10月2日		昼食代		800					
10月3日		サークル会費		2,000					
10月3日		友人の見舞い		5,000					
10月4日		アルバイト	5,000						

3. 日付の表示形式変更【セルの書式設定】

① A2セルを選択

② ホーム

③ 数値の右下をクリック

セルの書式設定

④ 表示形式

⑤ 日付

⑥ 2001年3月を選択

⑦ OK

次のような新しいウィンドウが開く

現金出納帳データ - Microsoft Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 アドイン

標準 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル

配置 数値 スタイル

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

標準
数値
通貨
会計
日付
時刻
パーセンテージ
分数
指数
文字列
その他
ユーザー定義

サンプル

2014年10月

種類(I):

*2001/3/14
*2001年3月14日
2001年3月14日
2001年3月
3月14日
2001/3/14
2001/3/14 1:30 PM

ロケール(国または地域)(L):

日本語

カレンダーの種類(A):

西暦

[日付] は、日付/時刻のシリアル値を日付形式で表示します。アスタリスク(*)で始まる日付形式は、オペレーティングシステムで指定する地域の日付/時刻の設定に応じて変わります。アスタリスクのない形式は、オペレーティングシステムの設定が変わってもそのままです。

OK キャンセル

4. 入力規則の利用【データの入力規則】

4-1 科目(B列)へ入力規則を設定

① B6 セルを選択

② データ

③ データの入力規則

④ 設定

⑤ リスト

⑥ H3 から H8 をドラッグして選択
(=\$H\$3:\$H\$8 と入力される)

⑦ OK

⑧ B4 セルの数式を B12 セルまで
オートフィルでコピーする

【絶対参照】
(セル番号)に\$を付ける

4-2 科目を入力

- ① B 列の「科目」欄は、セルをクリックし、右の▼をクリックしてリストより選択する

5. 残高の計算

5-1 計算式を入力

① F6 セルを選択

② =F5+D6-E6 と入力

③ F6 セルを F14 まで
オートフィルでコピー

* 摘要欄未入力行の残高の非表示方法については
便利な機能 【セルの非表示】 で説明

【相対参照】
数式をコピーすると、参照先も
自動的に変わる

6. 科目毎の集計【SUMIF 関数】

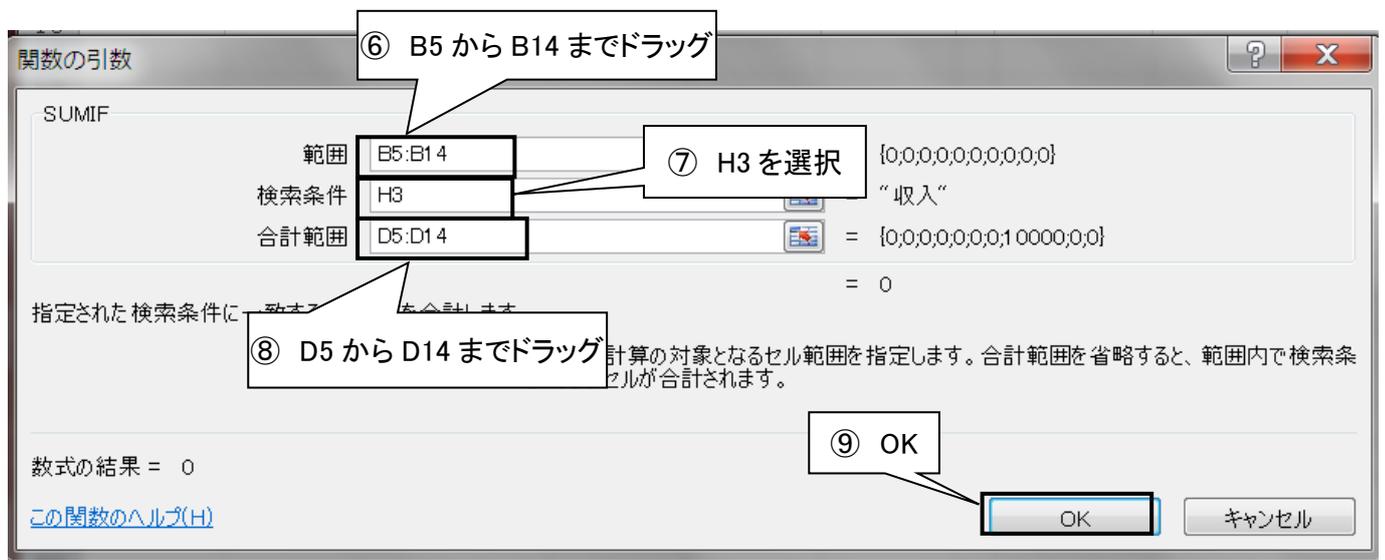
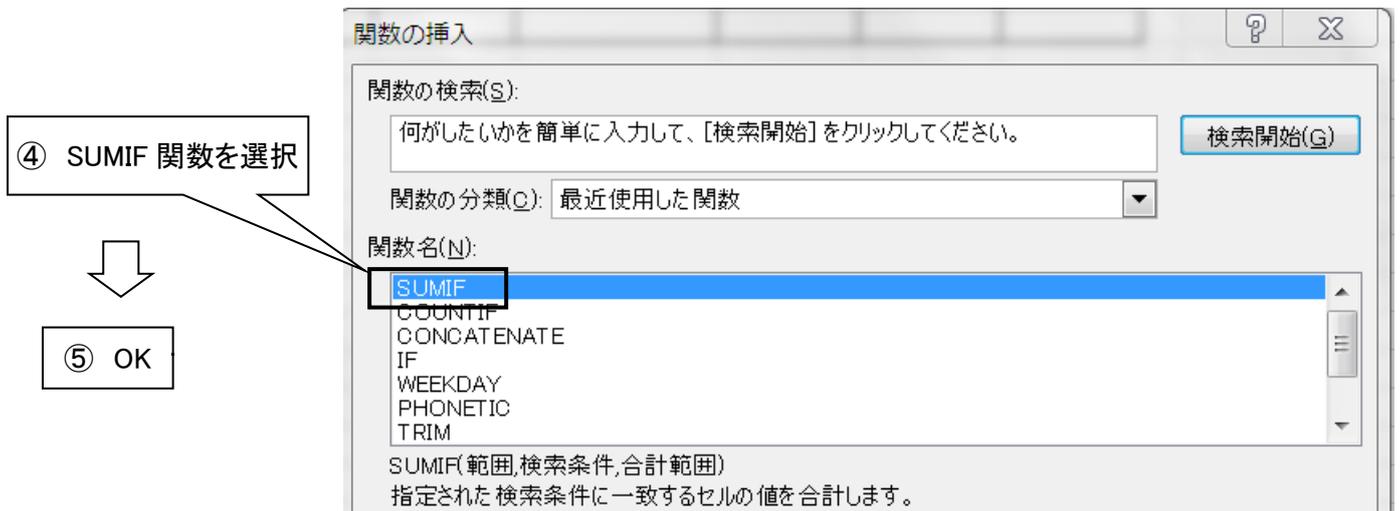
6-1 収入の合計を計算する

① I3 セルを選択

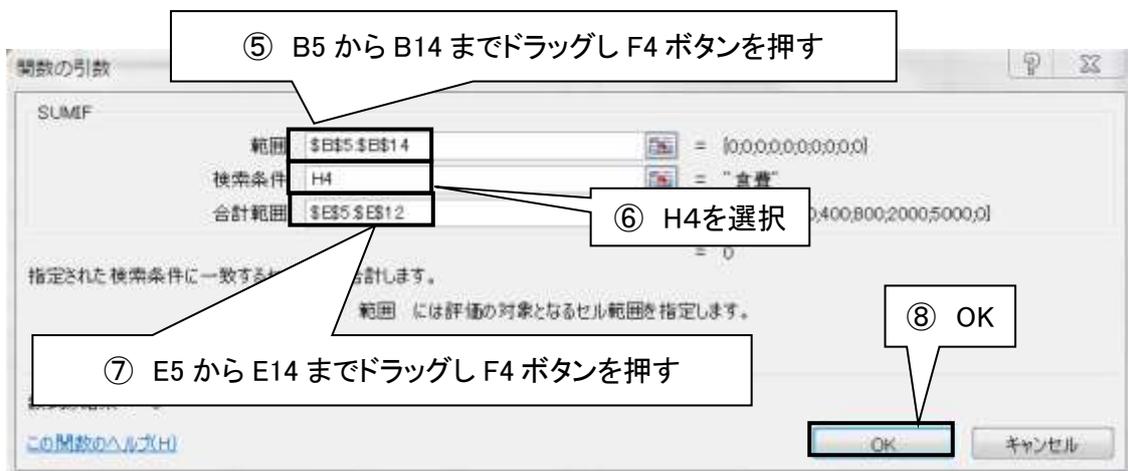
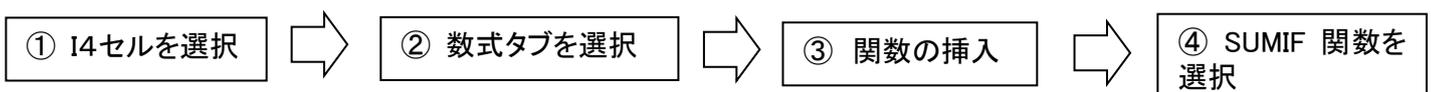
② 数式

③ 関数の挿入

次ページへ



6-2 科目ごとの支出合計を計算する

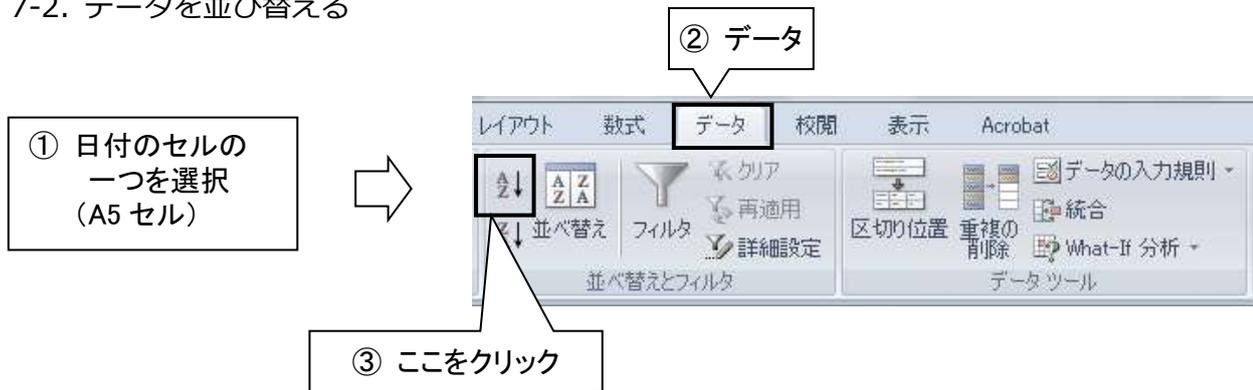


7. データの追加と並べ替え

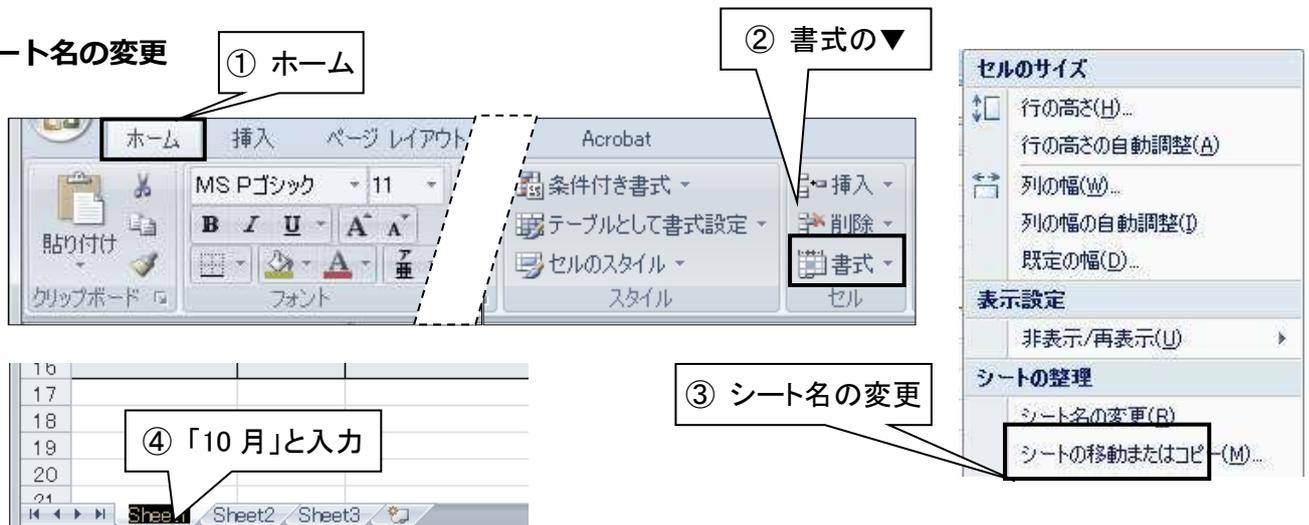
7-1. 空白行のセルに追加データを入力する

・10/3 ・食費 ・昼食代 ・700

7-2. データを並び替える



8. シート名の変更



9. シートのコピー

10-1. シートをコピーする



- ① シート名を変更する
- ② A2セルを変更する
- ③ A5～E**の内容を削除する（F列は残す）
- ④ F5の残高を変更する

10. グラフの作成

① H3 から I8 を選

②挿入

③円

④円

このようにグラフが描かれます

【現金出納帳】						科目	小計
2014年10月						収入	45,000
日付	科目	摘要	収入	支出	残高	食費	2100
10月1日		繰り越し			5,600	教養娯楽費	1,500
10月1日	収入	小遣い					
10月1日	食費	昼食代					
10月1日	教養娯楽費	本					
10月2日	交通費	バス代					
10月2日	食費	昼食代					
10月3日	交際費	サークル会費					
10月3日	食費	昼食代					
10月3日	被服費	シャツ					
10月4日	収入	アルバイト					

11. 便利な機能

10-1 セルの非表示【IF 関数】

*C列が未入力の子、残高を表示しないようにする

① F6 セルを選択

② 数式

③ fx関数の挿入

④IF を選択

⑤OK

⑥ B6="" と入れる

⑦ "" と入れる

⑧ F5+D6-E6 と入れる

⑨OK

関数の挿入

関数の検索(2)

何がしたいかを簡単に入力してください。

関数の分類(C): 最近使

関数名(N):

IF
SUMIF
COUNTIF
WEEKDAY
PHONETIC
TRIM

IF(論理式,真の場合,偽の場合)
論理式の結果 (TRUE か FALSE) に応じて、指定された値を返します。

関数の引数

IF

論理式 B6="" = TRUE

真の場合 "" = ""

偽の場合 F5+D6-E6 = 34900

論理式の結果 (TRUE か FALSE) に応じて、指定された値を返します。

偽の場合 には論理式の結果が FALSE であった場合に返され FALSE が返されます。